

「エコ商品」から みんなが笑顔になれる世界へ



笑顔の和

自分たちでつくるよりよい未来の

私たちの力で
世界を変えよう
私たちができること

5月私が通っている小学校に、フリーザ・チルドレンの中島早苗さんが来て下さりました。その時世界には学校にも行けず着る服もなく食べる事も困難な子どもたちがたくさんいる事や世界では億五千万人もの子ども達が児童労働として働かされている現実を知りました。私たちが当たり前としてできている事が世界では当たり前ではない。多くの事を学び、私達ができる事、学校に通えている私達だからこそできている事を考えました。その一つが五年生で毎年取り組んでいる「エコマーケット」です。エコマーケットの売り上げを難民の子ども達のために、役立てる事になりました。



発行
和歌県橋本社
あやの台小学校
5年
依 和花

今日の注目記事！
・私たちの力で世界を変えよう
・エコマーケット？
・日々成長する野菜会社
・世界の子も達がみんな笑顔になれるよ

エコマーケットって？

私たちの学校では、5年生を中心に「エコマーケット」に取り組んでいます。このエコマーケットでは、「野菜会社」「リサイクル会社」「木工会社」「手芸会社」の4社があり、5年生全員が社員です。自分たちで商品を考え協力し合って、色々なエコ商品を販売しています。



野菜会社
無農薬野菜を作
り販売。
リサイクル会社
エコ商品を自分たちで
開発して作り販売。
木工会社
捨てられるはずだった
木を、使ってゴーストや
本立てなどを製作し、
販売。
手芸会社
「いらなくなた布や服か
ら、エコバッグやエコマ
ットなど
色々な製品を製作し、
販売。

日々成長する野菜会社

私はこの「野菜会社」の社員です。野菜は体にやさしい無農薬野菜です。

でも野菜会社でも色々な苦勞があります。

毎日当番を決めて水やりをするのですが、だれか忘れているかいると野菜がすぐにかわってしまいます。無農薬だから、こも虫もつきやすく、虫とりも毎日気をつけています。

「だれかがしてくれ」と思っていると野菜は作れないので、野菜会社全員が協力し合って、みんなにおいしいと言ってもらえる野菜作りを目指してがんばっています。



世界の子も達が

みんな笑顔になれるように

エコマーケットは、ただ作ったり売ったりするのではなく、世界では、子どもが一億五千万人も働かされている現実を伝え、多くの大人にも知ってもらう事が私達にもできる大切な事です。エコマーケットの売り上げで世界の子も達も一人でも多く笑顔になれるよう、これからみんなが協力し合いながら、がんばっていきます。

今日の俳句

人と人 世界がつながる エコマーケット